



# 阿賀町 議会だより

## 絆に感謝 さあ復興へ!!

～吉津地区 どんど焼～

No.27  
2012.2

12月定例会  
委員会報告  
10人が町政を問う

3P  
4～5P  
7～16P

発行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112  
新潟県東蒲原郡阿賀町津川1580番地  
発行責任者：議長 斎藤秀雄

## 阿賀町議会議員研修会 通年議会制と更なる議会改革について!

講師 新潟県立大学 国際地域学部  
準教授 田口一博  
2011年12月6日

去る12月6日、田口一博先生を講師として「通年議会制」の経緯と意義について講演を頂いた。

### ◎通年議会制の経緯

数日から数週間の期間を会期と称して集中的に活動するのが「会期制」で、3・6・9・12月の年4回を会期としているのが一般的です。

当初自治法の原案では、議会の会期は年6回以上の会期を義務付けていましたが、国会同様に根付くことなく占領終結とともにやがて自治法も議会の開会を限定する方向へと還元されました。

### ◎通年議会制の必要性

町村議会では「会期」中の「本会議・委員会」とは称さないものの毎月のように非公式の集会「協議会」を開き、町村長の報告等を受けたり議員間の活動を行ってきました。

この動きは08年の地方自治法改正で議会の本会議・委員会以外の非行式会議でも議会活動と

認める「議会又は調整の場」との規定が認められ、「通年議会制」の概念として広まりました。

### ◎通年議会制の意義

通年議会の活動を通して期待されるのは「行政統制」や「決算の改革」です。

現在の自治体決算は事業終了翌年度の半年後の審査であり、中間決算等の実施で社会通年に近い執行過程の統制や監査が可能となり緊張感の差が歴然です。先生の講演は実に傾聴に値する内容でした。



阿賀町議会議員研修会

ウーン、なるほどな…

## 編集後記

年末になると人は一様に『二年なんてあつと言っ間だね、あと〇〇日で今年も終りだね』と合う人毎に言い合う。明日から来年の年末に向って歩み始めている事を感じている人っているのだろうかと思うとおかしきもある。『暑いね』って言えば『暑いね』と言う。『寒いね』って言えば『寒いね』等と続く詩は今年3月11日の東日本大震災被災者へ詩人が贈った励まし詩の一コマだ。そして全国民が物心で生きる勇気を与えようと立ち上がり大きな「うねり」になった。被災者の皆さんは老若男女問わず口々に『生きるパワーを頂いた』『明日への前進に向け頑張れます』と涙と笑顔で立ち上がってくれました。この様な一連の助け合うこと、そして同じ言葉を言い合うことが日本の日本人の文化であることに誇りと意気揚々さが込み上がりました。そして昨年の漢字一字に「絆」が選ばれた。まだまだ続く復旧、復興にこの一字を大事に暖めていきたいものだ。  
(宮澤)

### 広報対策特別委員会

- 委員長 神田八郎
- 副委員長 小池隆晴
- 委員 宮澤勝見
- 委員 高橋 渡
- 委員 清田輝子
- 委員 入倉政盛

# 一般会計補正予算 1億1,662万9千円追加 総額 156億6,883万円

- 一般会計の主なもの**
- \*総務費**
    - 生活交通確保対策事業 345万3千円
  - \*民生費**
    - 介護基盤緊急整備事業 3,150万円
    - 平成23年7月新潟・福島豪雨災害対応事業 8,700万円
  - \*衛生費**
    - 阿賀町エコパーク等管理運営費 2,185万円
  - \*教育費**
    - 要保護・準要保護児童就学援助事業 40万8千円
    - 一般保健体育総務費 490万円



三川地域新谷地区「諏訪前用水路」災害

- \*災害復旧費**
  - 現年発生農地災害復旧事業 1,630万円
  - 町単農地災害復旧事業 7,800万円
  - 町単農業用施設災害復旧事業 3,212万円

- \*町道路線認定について**
  - 路線名 上西ノ沢線
  - 幅員 150メートル
  - 幅員 3・5メートル
- \*人権擁護委員候補者の推薦について**

住 所 東蒲原郡阿賀町 三方甲322番地

氏 名 長谷川 司

生年月日 昭和22年10月9日

## 12月定例会

第4回12月定例会が12月13日から12月16日までの4日間の審議日程で行われた。

はじめに各常任委員会の閉会中における調査報告、町長の行政報告、議員10名による一般質問が行われました。付議された案件は専決処分承認2件、平成23年度一般会計補正予算、各特別会計予算5件、財産の取得、町道路線の認定、簡易水道条例の一部改正、中東福祉事務組合規約の変更、人権擁護委員候補者の推薦、請願4件等です。

- ほかの議案説明**
- \*財産取得について**

寄贈高規格救急車救急資器材を取得するため

    - 寄贈高規格救急車救急資器材一式
    - 契約の方法 指名競争入札
    - 契約の金額 1,077万9,525円
    - 契約の相手方 新潟県長岡市石動南町8-1 株式会社 悠久堂医科器械店

代表取締役 加瀬 慎一

## 新年のご挨拶

阿賀町議会議長 齋藤 秀雄

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、豪雪に始まり、東日本大震災・原発事故と多くの災害が発生、そして我が町を襲った七月豪雨災害は多くの町民の財産を喪失させ、生活環境を変えてしまいました。町内では人的被害がなかったことが幸いでした。阿賀町議会は議会基本条例を制定し、議会報告会での町民の意見を伺い、町政に反映させるよう努めていき、阿賀町を安全・安心の町にするため政策提言を行い、議論を深めてまいります。町民各位には議会傍聴にお越し頂き、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

少子高齢化社会の中、高齢者対策だけでなく、若者定住策や子育て支援策等で元氣あふれるまちづくりを推進し、歴史、文化を大切に、人情あふれる町にすることが大事と考えているところです。町内には多くの文化芸術団体やスポーツ団体が活躍し、大きな成果を上げています。

今年には全国高校総体ボート競技が阿賀町で開催され国体以上の方々来町します。町民皆様で明日の日本を担う子供たちにエールを送り歓迎しましょう。結びに昨年の大災害を教訓とし町民には人のつながりや支え合う心がさらに強く育まれたのではないのでしょうか。

議会は人のつながりを大切に、心のかような町政をめざします。平成二十四年が平穏で、皆様のご健勝・ご多幸であることをご祈念申し上げ新年のあいさついたします。

## 明けましておめでとうございます

猪俣誠一	渡部英夫	山口周一	神田八郎	小池隆晴	佐藤郁夫	佐久間勇夫	星 公司	石川太一	伊藤武一	齋藤秀雄	高橋 渡	五十嵐隆朗	入倉政盛	清田輝子	宮川弘懿	石田守家	宮澤勝見
------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------

# 委員会閉会中の 所管事務調査日報

## 通年議会制の運営調査

議会運営

委員長 猪俣 誠

◇調査日

平成23年9月28  
～29日

◇調査地

長野県北佐久郡  
軽井沢町  
同上高井郡小布  
施町

◎通年議会制の利  
点

地方分権による議会の閉会中の期間を無くすことによるチェック機能等、監視機能の充実・強化を図り、緊急対策などの議会の主体性・機能性及び政策立案能力を高めることができる。議長権限で議会が再開でき、議会が主体的に議会を開く仕組みができる。常に会期中であるため、委員会がいつでも開催でき、委員会の審査・調査が制限なしにできるなど、議会運営の柔軟性・効率性を図ることもできる。議会運営委員会の意見としては、「当議会としても、町長部局との調整を図り、試行等を踏まえて、導入を図る必要がある。」と結論付けた。



大変参考になりました

## 行財政改革と防災対策の調査

総務文教

委員長 石川 太一

◇調査日

平成23年11月28  
～30日

◇調査地

東京都西多摩郡日  
の出町  
静岡県伊豆の国市

過疎化が深刻で自主財源が乏しい当町の人口増計画と行財政改革の指針として行政と共に努力していきたいと思えます。伊豆の国市では、たび重なる台風等の自然災害と近い将来予想される東海地震と浜岡原発の対策について調査しました。洪水対策については放水路の建設と排水ポンプの完備、堤防が決壊した場合の洪水避難地図、風水害対策、東海地震に備えた地震対策の情報等、防災対策に関する全ての内容を記入した防災マップを全戸配布していました。今後、7月の豪雨災害対策の検証に生かしていきます。



学稼べき点が多々ありました

## 農山村地域の再生と地域林業活性化調査

産業建設

委員長 佐藤 郁夫

◇調査日 平成23年11月8～10日

◇調査地 三重県伊賀市 京都市北区

◎京都市北山丸太生産協同組合  
北山杉は室町時代より植林されたといわれ600年の歴史ある杉で主に造作材に用いられている。銘木の条件としては年輪があり目がつんで細かく艶のある事と云われている。30～40年経った木でも直径15～20cm位である。

東蒲杉においては、雪国というハンデもありこのような育林方法は適さないかも知れないが今後の課題ともなる。

◎農事組合法人伊賀の里モクモク手作りファーム

20数年前に養豚農家19名で組合を設立し発足した。豚をハムに加工し、ダイレクトに消費者に供給する事業である。



にぎわっているモクモクの里

毎年、米7500俵ほど収穫し、キロ500円で販売している。客は年間50万人位で、売上高は16億円ほどという。

6次産業事業を取り入れ農山村漁村にある豊富な資源を活用して儲かる農林漁業を実現し、雇用の確保と所得の向上を目指すものであるが、周辺に大都市があるのも成功の要因でもある。

## 「福祉の町づくり」と「資源循環センター農土香」を調査

社会厚生

委員長 石田 守家

◇調査日 平成23年11月28～30日

◇調査地 東京都日の出町 静岡県伊豆の国市

日本一お年寄りにやさしく子育て支援の充実と出生率の向上を目的として次の施策を実施している。

◎次世代クーポン券の創設

15歳までの幼児、児童に月額1万円を支給し、保育料、学用品等の購入に当て、防犯ブザーの貸与を実施。

又、15歳児までの医療費の無料化を実施し、町内の病院、診療所の入院費を助成している。

中卒者から18歳までの育成支援金の支給及び医療費の無料化。75歳以上の医療費及び人間ドックの健診無料化やお出かけドリームカー等の運行と福祉サービス関係事業に力を入れている。



これが堆肥「農土香」

◎完熟した堆肥「農土香」

食品残渣や牛糞等を利用して堆肥を製造する「資源循環センター」を視察した。伊豆の国市では、本来ごみとなるものを活用して有価物を産み出し、廃棄物処理のコスト削減に寄与している。



# 阿賀野川ライン舟下りの復活見通しについて

渡部 英夫 議員

豪雨災害にあつて乗船場下船場ともに大きな痛手を受けましたが、舟下りは観光の中心でもあることから何とか復活をという激励も賜っている。何もしないで放置しているわけではなく、河川管理者の県当局にも非常に心配をいただき鋭意努力している。行政報告で今年度9億円ということを申し上げましたが、流路確保も含まれたものです。平成24年度までに64億円の予算

当町の観光拠点の一つである阿賀野川ライン舟下りが白崎の乗船場から阿賀の里までのコースが閉鎖状態となり久しいことに心を痛めている。この度の豪雨被害により河床が大きく変化し、通船に困難が生じ、このまま放置しておく、当町の大事な観光拠点が失われてしまうのではないかと、

**河川管理者の県も航路確保のため努力している**



しゅんせつ 浚渫が待たれる阿賀野川(五十島区)

11月13日の物産展で非常に来場者が多かったわけですが、ああいう形のものでこれからはどうか。阿賀の里は大切な雇用の場でもありますので、またまだ誘客が図られるよう努力したい。

**人が多く集まるイベント開催を**

これから雪見船の時期になります。雪見船をやるうとしたときに五十島旧渡船場まで上ってUターンすることであの渓谷を雪を眺めながら下ることが可能になります。座敷船で料理を出して2時間程度のコース設定で収益につながってくると思いますが。

**可能な限り早く要望**

座敷船になりますと外を

イベントは主催者の熱意で成功する。イベントは主催する人たちの熱意がイベントを成功させることから、当然阿賀の里自体もその方向でやってみて行くべきだと思います。この冬、1月と3月の間はスキー場の利用とかで多くの皆さんから利用頂けるよう工夫が必要と思っっている。

**イベントは主催者の熱意で成功する**

閉館状態の阿賀野川資料館の今後の有効活用について、観光なり地域住民の利便なりを考慮した活用方法を考えて欲しい。

**阿賀野川資料館の今後の活用について**

**観光をやった方が良いのでは**

水害がなければ当然優先的にやる予定でしたが、少し遅れております。今どうあるべきかは観光担当者に話してあるが、やはり観光をやったほうが良いのではないかと。所管替えも視野に入れながら対応したいと思っております。

# 一般質問

# 議員10人町政を問う

## 一般質問項目一覧表

12月定例会では、10人の議員から一般質問がおこなわれ、町政全般について、2日間にわたり議論が交されました。

- ◎ 渡部 英夫 議員(7ページ)
  - 1 阿賀野川ライン舟下りの復活見通しについて
- ◎ 五十嵐 隆朗 議員(8ページ)
  - 1 「事業仕分け」の導入を
- ◎ 宮川 弘 議員(9ページ)
  - 1 電力購入に入札制度を
- ◎ 清田 輝子 議員(10ページ)
  - 1 無料入浴の見直しを
  - 2 全国町村会でのT P Pへの対応は
- ◎ 伊藤 武一 議員(11ページ)
  - 1 町政を質す
- ◎ 高橋 渡 議員(12ページ)
  - 1 県立津川病院の整備拡充を
  - 2 揚川バイパス完成後の大牧～津川間の管理方法は
- ◎ 入倉 政盛 議員(13ページ)
  - 1 安心して住めるまちづくりを
- ◎ 猪俣 誠一 議員(14ページ)
  - 1 豪雨災害の検証を速やかに！
- ◎ 小池 隆晴 議員(15ページ)
  - 1 想定外の危機管理を問う
- ◎ 神田 八郎 議員(16ページ)
  - 1 新潟・福島豪雨における被害地域の今後の対応策を問う



## 「事業仕分け」の導入の考えは

五十嵐 隆 朗 議員

### 「事業仕分け」の導入の考えは

質問

国の事業仕分けにつきましても、様々な問題があり全面的に賛成しているわけではありません。また、阿賀町における予算編成に当たっては、それぞれ各担当課で査定、見直しされていることは承知しています。役場内部の非公開の場での検討ということのみでは十分ではないのではないのでしょうか。事業について公開の場で予算編成の前に住民でやるのか、専門の有識者の意見を聞いてみる、このことによつて、内部のものに気がつかなかった見方であるとか、仕分けに耐えられるだけの事業の必要性や効果と費用のバランスを示さなければならぬといったよい面があることも事実でええらうと思います。そこで、阿賀町も事業仕分けを導入してはいかがでしょうか。

### 有効な手段でもある

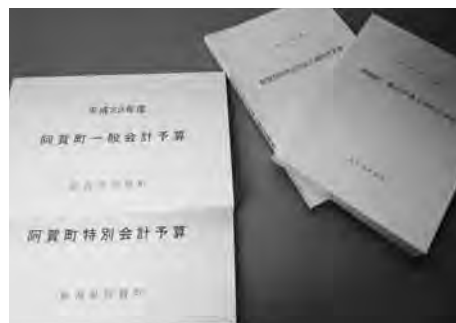
町長

予算編成も財政担当の会議でも、国等の指導を受けて採択をいただいているのが大半を占めていますので、事業仕分けになじむという事業はそう多くはないが念頭において今後の財政運営をしていく事に有効な手段であることは間違いありません。いであらうと思いますが、今まで継続してきているそれぞれの地域での振興策などの仕分けは非常に難しい。

### 「行革」につながるには

質問

個別の事業には必ず予算



事業仕分けの導入資料として

があり、同時にその種の事業を実行すべき組織があり、そして制度があるという、ワンセットを見直したとき「行革」に触れて、成果が出てくるのではないのでしょうか。

### 日々行革

町長

日々行革だというふうに取り組みをしています。地方交付税の一般算定になつていくと、平成32年度には14億円も下回るわけですから、このままの情勢ですら、やっていけなくなるとすれば、優先順位を決める中で取捨選択をしていく時代になつてくるのではないかと、いふふうな思いで、そういう備えをしていかなければと思います。

### 公開で見直しを

質問

決算審査意見書の中で、「適切な予算の編成並びに執行管理に努めたい」とコスト一辺倒でなく、見直しにより、削減という話だけ

### 公開は考えていません

町長

形は変えています。毎年いろいろなことをやっているつもりです。公開については今考えておりません。

### 事業仕分け全国的に加速

質問

町民の中でも、一度外部の目も必要ではとの声もあります。そもそも、事業仕分けというのは、国が最初に始めたものではなく、一部地方が先に導入したものです。自治体の事業仕分けが全国的に加速しています。ぜひ前向きに考えてください。

町長

仕分けをするのであれば財政講座、勉強会も一つの方法では。議員が言う何かもう一つ目に見えるような形は、ひとつ参考に勉強させていたいただきたい。



## 電力購入に入札制度を

宮川 弘 懿 議員

### 特定規模電気事業者 (PPS) の導入

質問

平成12年3月から電力購入の自由化が始まりました。その後、自由化対策の拡大に伴い、入札により、いわゆる特定規模電気事業者 (PPS) から電気を買う省庁その出先機関、独立行政法人、自治体が増えております。わが町も検討してみています。如何ですか。

町長

平成17年からこの制度により高圧50kw以上の需要者は一般電気事業者以外から電気を購入できるようになりました。

阿賀町における電力供給事業者は東北電力でございます。これ以外にありませんか。

あれば、安く買えることもできますので導入を検討する必要がありますが、現段階では不可能です。

因みに、阿賀町の平成22

年度の公共施設の電気使用料は、1,101万金、額にして2億2,87万4,000円になっております。

質問

私の認識と違っております。東北電力管内には、7社のPPS事業者があります。

もう一度調べて下さい。

町長

電気使用量も大きいのです。もう少し調べさせて下さい。

### 人口減少に町を挙げて取り組もう

質問

少子高齢化により人口減



既設の送電網を使うPPS

少が進んでおります。平成19年3月末から23年3月末までの4年間に、1,149人の減少となっております。

人口減少に歯止めが掛からない一番の原因は、町内外に働く場が少ないことだと思います。

ところで、県の助成事業で、小規模多機能型の老人福祉施設ができればよいと思いますが、どれ位の雇用が見込まれますか。

### 町民目線の行政サービス

質問

4事業所が準備を進めています。ケアマネ、栄養士看護師これら専門職が20名介護職80名位になると思います。

町長

国の叙勲の榮譽を受けることになり、その出欠につき役場から電話連絡があった。付き添いが可能であることが知れていければ参加したかったが、知らなかったため止むなく欠席をした。後日、県からいただいた資料には、そのことが記載されていたといえます。

事業主体の如何にかかわらず町民が何を必要としているか、何を望んでいるかそれに応えるのが、我々の任務かと思えます。

町長

今後そのようなことがないように努めます。



# 無料入浴の見なおし改善を！ 全国町村会でのTPP(環太平洋経済連携協定) への対応は

清田輝子 議員

## 財源の厳しい中で

質問

当町の税収は、平成23年度は、14億円でした。ゆつたりカードの予算は、補正を含めて(東日本大震災避難者入浴分を含む)3千万円。税収の2%の事業費です。

7つのセクターの中、6つの施設での利用ができません。一日平均で450名程の方から利用されています。自主財源のない当町です。改善すべきところは改善が必要であると思います。

## 十分承知している

町長

政策的にこれを実現してきた経緯もあるので答えは変わりません。中には100円位はと言う方もおられますが、先々考えていかなければならないことは十分承知しています。

## 見直すべきの声

質問

議会報告のたびに、必ず出て来る意見は、ゆつたりカードは見直すべきとの声です。回数券、もしくは、100円は利用される方にご負担を願うべきであると思えます。少子化の中無料でいいのは子供ではないでしょうか。

## 健康づくりである

町長

財政的に負担ということもあります。これは健康づくりの一端であります。利用する、しないは別として喜んでいただければいいのではないかと思う。



ワンコインにしては…

## 朝風呂のメリットは

質問

三川の「寿の湯」は朝6時からの営業開始であるがこの早朝からの風呂は、何のメリットがあるのですか。

## 継続である

町長

新しい町になったからやめたのではなく、旧町村時代からの継続です。かけ流しでやっているのが近隣の方々から入浴いただき、これは他にない特典です。既特権でやっているの理解していただきたい。

## 全国町村会では

質問

政府はTPPの交渉参加を決めました。これからの農業はどのようなものか不安です。新聞には「日本農業存亡の危機」と大きな見出し一面を飾っています。全国町村会ではどのような議論が交わされているのか伺います。

## まさに反対

町長

全国町村議会では、まさに反対です。いくつかの項目の中で山林振興連盟でも地域経済社会を崩壊させるとして反対決議をしています。

現内閣は協議に入るような言い方をしていますが仮締結となった場合、それに打ち勝つ農業、今まで以上に農業関係施策の充実を図っていかねければならないと思っております。TPP参加ともなれば、国土はますます荒れます。全国町村会議会は強い反対決議を示しています。我々は一緒になつてその方向へと進みます。



# 町政を質す

伊藤武一 議員

## ◎木質バイオマス 利活用推進事業

質問

公共施設ペレットボイラー化が進められている。6億の大型プロジェクト、町の活性化森林開発としているが、一般家庭へのペレット促進についての考えを質す。

## 購入価格が高価

町長

ペレットストーブの購入価格は高価であり、今後購入の一部助成を配慮しなければならぬと思う。今後の問題として取り組まざるを得ないかなとは頭にある。

## クレジット販売進捗は

質問

今年度販売可能139t、販売済34t、残りの販売の取組について問う。

## 問伐状況、ペレット活用 施設でのバスツアー開催

町長

県内3業社に34t61万円の売却がありました。県地球環境対策室と合同で、企業団体を対象にバスツアー開催、問伐状況、ペレット活用施設の視察を実施、県

## なぜ公設民営なのか

質問

県内外において公設民営の事業は無いに等しい。なぜ町は公設民営なのか、他町村も設備、森林整備、里山の活性化に取り組んでいる内容は我が町と全く同じであり民間の会社独自で国からの助成で事業している。公設民営のメリットはあるのかを問う。

## 発想の違い思える

町長

他町村は廃材等の有効活用であり、町は森林整備、問伐材の利用と問伐意欲を出して森林の有する多面的機能を活用できる町の理念を運営に反映できることが大きなメリットであります。

質問

町のメリットの意味が解らない。他町村も同じ取り

組みをしている。

町長

問伐と雇用及び森林整備の採算性をあわせもっていることが一番大きなメリットです。



阿賀町木質バイオマス燃料等製造施設

## ◎人間ドック支援事業

質問

満70歳過ぎると支援を受けられなくなるのは何故か。70歳過ぎると無料になる市町村もあり、年々人間ドック検診には年齢制限が撤廃されてきている。70歳までの制限は阿賀町と他一ヶ所位です。早期発見、早期治療は医療費の削減に繋がるのではないかと。

## 基本的には集団検診

町長

特定検診や各種癌検診等は集団検診を受けて頂くこ

## 70歳以上助成はないのか

質問

70歳以上は助成はしないと思えるがどうか。

## 前向きに考える

町長

70歳以上もドックの助成をしてはどうかということであれば前向きな考えであります。

## ◎被災低所得者への支援は

質問

被災低所得者への灯油代の支援は考えられないのか。

## 物価の上昇前年対比 を見ながら検討

町長

H19・20年は物価上昇で支援の経緯がある。こういった情勢下を踏まえて何らかの手を打つ必要あるかと思っております。断言はできませんが前向きで取り組みを



# 県立津川病院の整備拡充 揚川バイパス完成後の大牧～津川間の管理

高橋 渡 議員

## 改築・整備拡充を

質問

津川病院は県内第一号の県立病院として、歴史あるそして多くの人命を守ってきた郡内唯一の基幹病院であります。診療科目も減る、改築は平成16年以降行われず老朽化している。

先般、新聞紙上に県立新発田病院の現状について、シリーズで連載されているとおり、受入状態については満杯状態であり、危機的な局面が報道されており、津川病院がその補完的役割を担う必要があり、改築、改装及び整備拡充を県当局に働きかけをする必要があると考えます。

町長

新築をするとか、改築をするということになりますと簡単ではないという事で整備拡充、そして診療体制の充実ということが一番ではないか。縮小された部分もありますが、診療科目の

新設も行われているわけであり、さらに一層阿賀町住民の安心のよりどころとして県立津川病院の充実強化は喫緊の課題として対応してまいります。

## 一日も早い改善を

質問

先般、津川病院の現状について聞く機会を得ました。他の病院と比して旧態依然としており、勤務を命ぜられた看護師さんは涙を流すほどとお聞きをし、それだけ働く条件が良くないのではないか。議会としても議長会に要請はしていますが何等動きがない。



老朽化の進む県立津川病院

## 毎年度要望している

町長

毎年、年当初に県の部局に挨拶に行き、特に病院局は県議の口添えもいたいただきながら一緒に要望をし、その状況は理解はいただきませんが中々進みません。

## 大牧～津川間の維持管理は

質問

揚川バイパスは平成25年3月末までには供用開始になる訳ですが、維持管理はどこでやるのか未だ決まっていない。この間については、麒麟橋等の構築物があり、維持管理には莫大な費用がかかる事であり、その対応についてお聞き致します。

町長

麒麟橋、或いはトンネルがあり、町として維持管理は到底できないという事は話しをしており、県当局にお願いをしておかなければ



麒麟橋

というふうに思っています。

質問

大牧から黒岩間の廃道については覆す事はできないのか。

町長

私は覆す気はありません。国道ですらあの本尊岩の危険を回避する事ができなかった訳ですから。大牧地区の振興策をこれから考えていかなければならない。担当部局にもどのような振興策があるか、又、たたき台を作って、区の皆さんとの相談も必要になってくると思います。

## ワクチン接種の制度化を

質問

子宮頸ガンワクチンなど3種のワクチン接種への補助事業の継続と国の制度化を求める動きが自治体に広がっています。

町長

町としても独自に予算を国にも働きかけることを求めます。

町長

町民のみなさんの健康を守るという観点から、今年度当初予算で2000万円の予算を組んでございます。女性と子どもが自己負担無しで規定回数の接種を受けられるよう措置すると共に、町内の主要な医療機関とも調整を図り、体制面の整備を行った上で実施するということになりました。

今後、国と県の予算編成において、この事業の取扱がどうなっていくかは、まだ不透明なところがございますが、町の予算としては継続した形でやっていきたいと思っております。



# 安心して住めるまちづくりを

入倉 政 盛 議員

## 住宅リフォーム助成制度の創設を

質問

地域の建築関連業者に仕事をといることで質問しましたが実際のどのくらいの利用者があるのか。

町長

「東蒲杉」利用住宅補助金については22年度6件、23年度4件そのうち1件は町外業者です。住宅整備補助金については、定住奨励が22年度2件うち1件が町外業者、23年度は4件うち2件は町外業者です。

克雪住宅普及では、22年度で各1件、そのうち1件が町内業者の施工です。町の小規模工事契約希望者登録要領制度については22年度は267件、本年度11月末で豪雨災害関係で190件、災害関連以外で246件です。

この制度においては契約件数の約7割が工事参加資格を持つ業者が受注している。

質問

町でやっている補助金制度の補助基本額が大きいといっています。私が言いたいことは、住宅リフォーム制度の実施自治体でも補助率が20%、限度額が、10〜20万円というところが一般的です。

町長

この制度の経済的波及効果が大きいこと、地域内循環で個人業者にも仕事が多く行き渡るといふことで提案しているわけですね。その辺のところはどうお考えでしょうか。

町長

小規模工事登録制度については、今後は県内自治体の運用状況を精査し、また入札参加資格のない事業者の活用がさらに促進されるように要領の実用的な見直し、検討し、一層の利用促進がはかられるよう考えていく。

いろいろな助成制度を創設している中で、様子を見ながら制度の拡充、前進する姿勢で考えていきたい。

質問

医療費の無料化へ

今年度から子ども医療費助成が中学までに拡充されました。町も定住促進などの施策をやっていますが、人口減少はなかなか押さえることができません。

町長

人口減少に歯止めをかけるにはどのようにお考えでしょうか。

町長

人口の減少に歯止めをかけることについては、女性が安心して子どもを産み育てることができる社会をつくること、子育て環境の整備と雇用の場の創出を初めとする若者定住促進策を包括的に行っていくことが肝要ではないかと思っております。

医療費については一層の内容充実をさせていきたいと思っておりますが、医療費の無料化はなかなかこの財政が厳しいなかで無料にしようというのは本当に大変です。

これから十分先々を念頭に置きながら、できる対応は積極的に取り組んでいきたいと思っております。



猪俣 誠一 議員

# 豪雨災害 検証を速やかに！

**質問** 豪雨災害の検証を速やかに、結果を公表し、町民の安全・安心を守る町の姿勢を示せ。

被災状況は集落の形態により異なるが、降水量やダム放水量と災害の関係等、被災地の課題を含め、検証結果および予防の対策は。

## 検証には 時間がかかる

**町長** 町民の安全・安心および被害を最小限とするため、詳細に検証することが重要となる。阿賀野川水系の11ダムの水位・放流量のデータをいただき、放流量と冠水状況等について調査し、今後の復旧および対策を講じたい。検証はやっていると時間がかかる。

## マップも検証せよ

**質問** ハザードマップは避難所も含め機能していない。見

やすさや安全性の観点から議会からも問題点が幾度となく指摘されている。あらゆる状況を加味して、マップの検証を速やかに、町民の安全・安心の確保を図れ。

## 見やすいものに

**町長** マップは各地区の実態を把握し、多角的に検証した内容となっているが、住民の安全・安心の確保を図るため、災害情報の伝達経路等を再度確認し、さらに精査して、見やすく理解の得やすいものにしてゆく必要がある。

## 防災計画の 検証を

**質問** この災害で、防災計画は初動の段階で機能を果たしていない。職員初



冠水した国道459号線(実川島地内)

## 総合的に検証

**町長** 防災計画は総合的に検証する。職員初動マニュアルを徹底し、指揮命令系統及

び情報の収集も含め、機能するように努力する。

## 防災訓練を実施せよ

**質問** 町民の防災意識を高め自発的行動を促すためには日頃の訓練が必要である。町民と一体となって想定される訓練を行う必要がある。

## 訓練を実施

**町長** 自主防災組織の育成を含め、内容の濃いものにして訓練を実施したい。

## 放射線測定値を 公表せよ

**質問** 町民の不安を払拭するため、放射線の測定場所と数値を公表せよ。

## 公表を指示

**町長** 広報誌を通じて、分かりやすい方法での公表を指示した。



小池 隆晴 議員

# 想定外の危機管理について！

**質問** 7月豪雨前と後での危機管理意識は違いますか。

## 想定外の危機管理は！

**町長** この災害において、住民への周知や情報の収集等に指摘されたことに、それを改めた新たな取り組みも考えていかなければならない。地域協働と行政との連携について理解をいただき、支援体制、自主防災組織の育成、強化に取り組んでいきたい。

## 質問

過去の災害から被害を予測し、備えが大切と考えます。町の対応は如何か。

## 町長

いろいろな災害があります。いま考えられる最低限のものは念頭に置きながら想定していかねばならない。いろいろな機会をとらえて町民みなさんの認識を高めていくことが必要かと思う。

## 地域防災計画の見直しは！

## 質問



災害時における心強い味方

**質問** 阿賀町では高齢化が進み災害時要援護者への対応が

## 町長

今回の災害を通じ連絡体制については可能な限り途絶することがないように対応をしていきたい。さらに詳細検証をして補完すべきものは補完していきたい。

**質問** 防災関係機関が相互に情報の共有化が大切と思うがどうか。

## 町長

関係者だけでやっていくのではなく現場で活躍された消防団の代表、団員の目を通していくことが大切かと思っている。

**町長** 地域防災計画の見直しについていかがですか。

## 町長

必要となります。今後、リスク低減を図る地域継続計画が大切かと思いますが、

## 町長

それを念頭に置きながら皆さんが安心できる町にしていく、そういう心がけを持って望みたいと思っております。

## 職員のマニュアルについて！

## 質問

職員の防災マニュアルにはどんなものが作成されていますか。

## 町長

防災計画の中に別冊になっている。

## 質問

町が配布しているハザードマップをA3あたりの冊子に変えるつもりはありますか。

## 町長

地域消防団が本部を作つて、いろいろなチェックするにはやっぱり大きくつながらなければならない。みなさんが関心を持っていただくにはいつでも手にと

**質問** 集会後の電力側の情報があつたら示して欲しい。

## 電力側の情報は！

## 町長

12月20日東北電力を初め国・県及び奥見川上流の6ダムを所有する電源開発と勉強会を開催している。皆さんと一緒に説明を受けたその域を出ないというところである。



# ちようみんのひろば



自然と共に  
上田祥義さん(上川)



観光の阿賀町  
渡部隆幸さん(津川)

私は阿賀町で建築業を営む者です。通常は新潟市の方まで通って仕事をしている毎日です。昨年「東日本大震災」の影響で、私の店にもある不動産会社から仕事の依頼があり9月に宮城県石巻市まで行かせてもらいました。現地の大工さんから被災地を案内してもらいましたが、その惨状は目を覆つものでした。7月の「新潟・福島豪雨」

の時も自然の脅威をまざまざと見せつけられました。私は自然災害は昨年で終わったのではなくこれからの問題のようには思えません。地震国である日本の原発を廃止して安全なエネルギーの供給に尽力し、災害にいち早く対応できる日本、阿賀町をつくっていただきたいと思えます。町及び議員の皆さんに心よりお願い致します。



災害は忘れないうちにやってくる(深戸地区)

阿賀町は観光資源が豊富だと思いませんか。一昨年に阿賀町検定を受けました。自然、歴史、文化、観光と多岐にわたった問題は生まれ育った町だというのに知らないことはかりで四苦八苦しりましたが、町の魅力を再発見することもでき、楽しい経験をさせていただきました。その経験から阿賀町はもっと観光に力を入れても良いのではと感じました。残念ながら私も含め一般の

方は、地域の自然、歴史や文化の魅力に気付いていないかたように思います。最近では有名な観光地を巡るだけではなく、地域の自然や文化にふれる旅が好まれていると聞きますが、阿賀町はまさにぴったりではないでしょうか。できれば町外の方から客観的な意見を聞き、町民が阿賀の魅力を再認識できる場が欲しいですね。そのような機会が増えれば



街先案内人の養成講座風景

今以上に明るく人が集まる町になるだろうな、と思う今日この頃です。

## 新潟・福島豪雨における被害地域の今後の対応策を問う



神田八郎 議員

**豪雨災害地域の今後の改良復旧事業は**

**災害復旧助成事業と関連緊急事業である**

**質問**  
澤野県議の県政報告第45号で、新潟・福島豪雨での被災地域の今後の改良復旧事業計画の報告がありました。平成27年度までを目途とした阿賀野川の堤防のかさ上げ工事が主事業ですが詳細をお尋ねします。

**町長**

助成事業としては吉津、川口、白崎、岡沢区です。復旧事業としては岩谷、取上、石戸、石間区です。復旧方法としては既存堤防のかさ上げ及び堤防の新設による浸水の防止が主工事です。白崎区は三川支所の後ろから道路冠水部までの堤防かさ上げで、川口区は寿橋の絡みもあるので、極力取り組んでもらえるよう努力

します。

岡沢区は中ノ沢川の右岸に堤防を築く工事です。吉津、岩谷、取上、石戸、石間区については多分に堤防のかさ上げ工事です。谷沢、五十島区については内水浸水なので、内水処理のための排水ポンプ及び水門の設置等を踏まえて県に要請をしております。又津川地区については姥堂川地域の6地区区長連名で県振興局に要望書を提出しております。

**白崎地区の堤防かさ上げで上流部は大丈夫か**

**質問**

三川支所後ろから関ベン鉱業の冠水道路までの堤防かさ上げ工事後、白崎集落の上流部の人家に今後は浸水するのはと危惧する声があるがどうか。

**河川管理者を信用していただきたい**

**町長**



ポンプ設備の設置を(谷沢区)

関係地権者の協力がなければこの事業はできません。ましてや、河川管理者がそこに堤防を築くわけですから、狭くなつてそこにはまた水害になるようなことはまかり間違つてもないだろうと思えますので、是非信用していただきたいと思えます。また県では関係集落の説明会を予定しておりますし三川地区の全体説明会も予定しているようですのでよ

**五十島、谷沢地区の排水ポンプの設置を早急に**

**質問**

五十島地区では水門、樋門が3、4カ所ありますがそれ以外に堤防の下をくぐっている水門(水路)が7カ所程あり、その蓋がこれまたお粗末で阿賀野川の増水ですぐに水が入ってくるこのことなのでその検証と谷沢地区同様、一日も早い排水ポンプの設置をお願い致します。

**地元の皆さんの意向を受けて要望を**

**町長**

排水ポンプも自動で感知できるようなものをお考えしていますが、今後は、県には地元の方々の意向を伺いながら要望してまいりたいと思っております。